

発起塾での最初の1年を振り返って

T. M

2016年11月に家内の友達が新聞で発起塾の記事を見て勧めてくれたのをきっかけに、12月に神戸校へ体験レッスン（歌）を受けに行きました。その時点では、神戸校は女性ばかりで男性の塾生はおらず、身の置き所が分からないような居心地の悪さを覚えました。入塾するかどうかは、歌、ダンス、演技のレッスンを一通り体験してから決めることにし、なんとか続けて行けそうに思いましたので、2017年3月に入塾しました。62歳での新しい取り組みです。神戸校の平均年齢が当時65歳と聞きましたので、私は平均より少し下です。

神戸校の2017年公演は10月7日の実施が既に決まっています。6月に公演の台本が配布されるまでは基本練習でしたが、7月に配役が発表されてからは、公演に向けての練習が本格化しました。直前の9月は毎週2回月曜と土曜に練習があり、土曜日は午後1時から5時までのハードな練習で体重も少し落ちましたが、学生の部活の夏合宿のような感じもあって楽しいものでした。自主練は、犬の散歩中に iPod で歌を聞いて覚えたり、通勤時間や職場の昼休みに台本を読んだり、フィットネスジムで筋トレマシンを使いながら頭の中で台詞を反復するなど、仕事をしている時間と眠っている時間以外は頭の中が練習のことで一杯の生活だったと思います。それでもダンスは DVD を見ながらの練習を何度繰り返してもステップを覚えられず、動きもギクシャクしていて家内にダメ出しをされていました。（後日、公演の DVD を見て、あまりの不器用さに恥ずかしさを超えて笑ってしまいました。）

さて、公演当日、何しろ舞台上に立って何かを演じるというのは小学校6年の学芸会以来のことですから、会場入りからリハーサル、本番終了まで無我夢中の間に過ぎました。本番が終わり、やれやれという感じで、ロビーでお客さんが出てくるのを待っていて、家内と家内の友達の6人が近づいてくるのを迎え、彼女達から口々に「頑張ったね、良かったよ」と声を掛けられた時は不覚にも涙が出てしまいました。確かに必死で頑張りました。舞台上で最初の私の台詞が来るまで皆さん、私が失敗しないかとドキドキされていたそうです。優しい人達です。

打ち上げの2次会のカラオケでベテラン塾生の T さんが歌われた「栄光の架け橋」の中のフレーズ♪もうだめだと全てが嫌になって逃げだそうとした時も、思い出せば、こうしてたくさんの支えの中で歩いて来た♪、本当にそうだと思います。皆様、今年もよろしくお祈りします。